

貴重な学びの体験は宝物



校長 宮澤 雅子

新年度のスタートから2ヶ月が経とうとしています。心配された箱根でのオリエンテーション旅行を含め、各学年の宿泊を伴った行事も無事に終了することが出来ました。高2生は日本の文化を探求する京都への歴史研究旅行、中3生は平和を追求する九州・長崎への学習旅行、中2生は自然環境問題を探求する新潟への環境学習旅行、中1生は大妻生になるための、規律、ルール、学習方法、友人との絆作りなど、多面的なプログラムを夜までびっしり学びました。高3生、高1生もクラスの親睦を深めると共に新しい学年としての目標を皆で確認することできた遠足になりました。宿泊を伴った団体行動は否応無しに自律心を育てるすることができます。何事も自分の思い通りにはいかないのが団体行動ですから、その中から多くの成長が得られるものです。

先月号でお伝えしたスーパーグローバルハイスクールとしての取り組みであるフロンティアチームの授業も順調にスタートいたしました。時間的な制約があるのでやむ

なくチーム入りを断念した人もいたと思いますが、全校的にグローバルな学びを受ける機会はこれからも用意されているので、そのチャンスでは、積極的にいろんなことを吸収して欲しいと思います。

こうした様々な機会での出会いは、その一つ一つが人生で最も多感な世代の生徒達にとって「心を耕す一生の宝」に満ちています。そこで蒔かれ、耕された芽はゆっくりと育ち、将来確実に大きな実をつけることでしょう。

最後に保護者の方に御礼を申し上げます。先日の父母後援会総会には、お忙しい中、多くの保護者の皆さんにご参加いただきまして、誠にありがとうございました。また、同様に保護者対象進路ガイダンスでも、本校の教育活動に対する熱心なご協力をいただきましたこと、感謝いたします。

父母後援会新年度の会長として、これまで後援会活動に熱心にお力添えいただきました会計の大谷弘光様が、総会にて承認を受け新会長に就任されました。田中雅敬前会長が目指された、父母「後援会」というスタンスで「より良き学校生活のために」を温かく支援して下さるご意志を継いで、新たな執行部が誕生致しました。この平成27年度も引き続き、学校教育活動を支えていただけますよう宜しくお願ひ致します。私達教職員一同も子供達の「より良き学校生活」を目指して邁進してまいります。

